

無世界

3.0

あ

100
COMIC MARKET
FRIENDSHIP FOREVER

シヨク
おね

おねシヨクでは
ありません



18歳未満の
購入・閲覧禁止

シヨク
攻

シヨクおねです
注意してください



金貨五十枚
それが彼女の値段だった

健康で傷もなく従順—
主人に逆らわないよう
魔法もかけられている

友達の借金を肩代わり
したせいで奴隷落ち
してしまったらしい

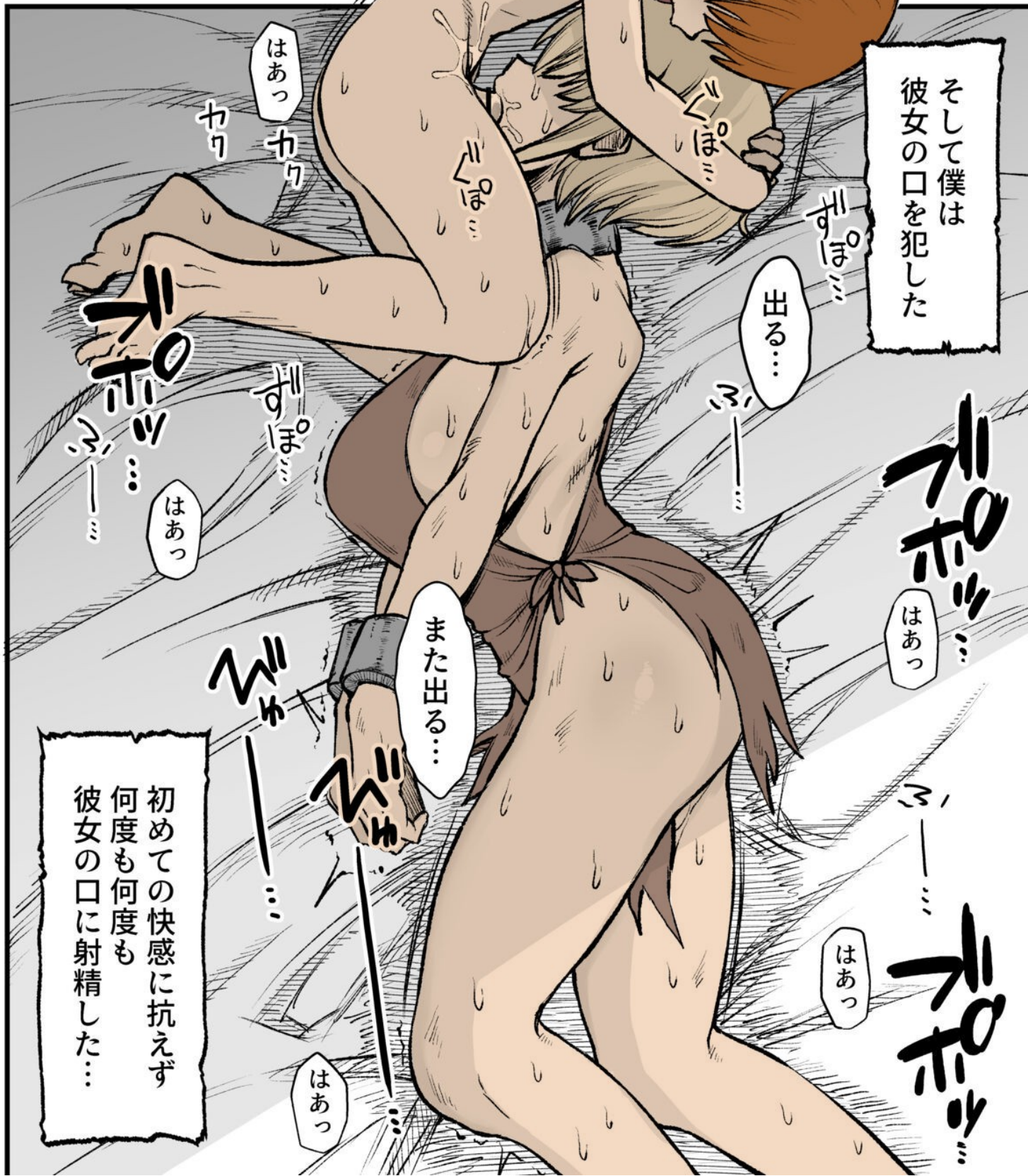
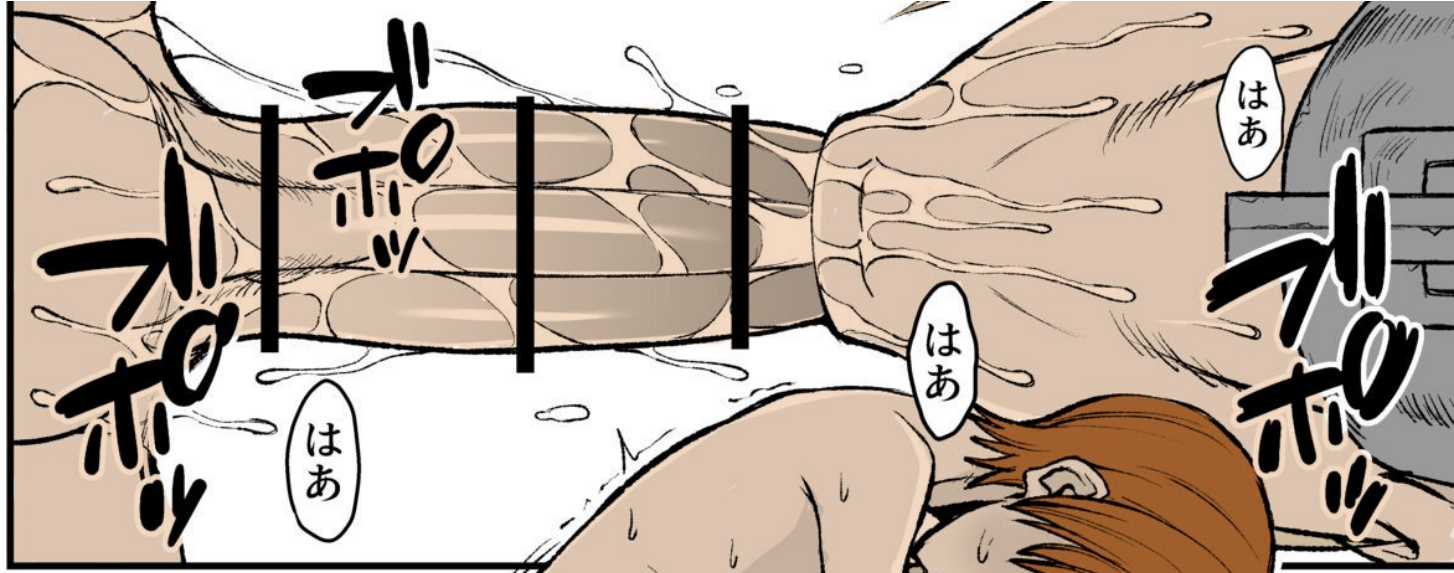
僕はお姉さんのことを
可哀想だと思った。
それと同時に—

これからこのお姉さんは僕のもので
なにを命令しても良いということ
好きにしていいたいこと…

服…

脱いで
くれますか？

不安そうにしている
表情を見て僕は…
興奮してしまっていた



はあ

はあ

はあ

そして僕は
彼女の口を犯した

出る…

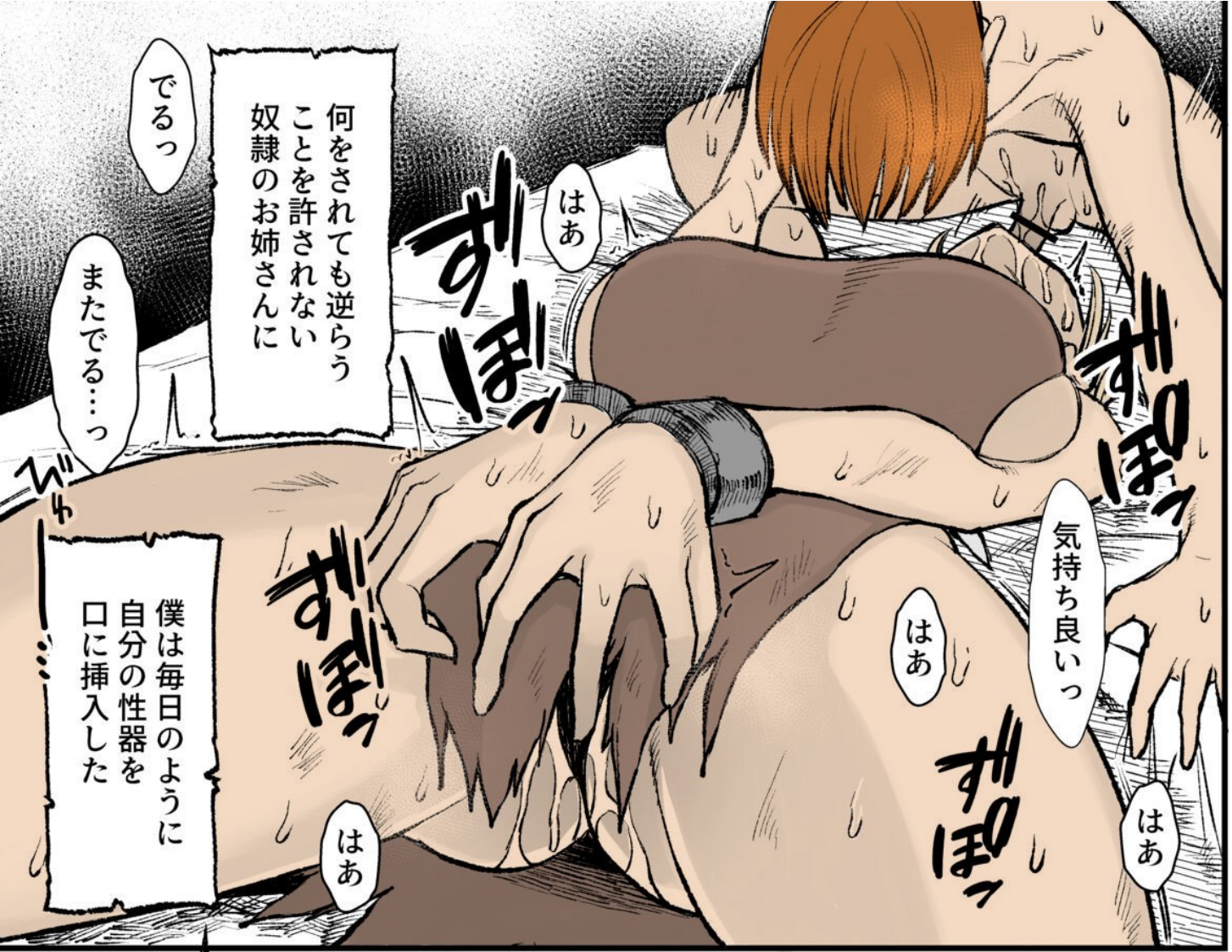
はあっ

また出る…

初めての快感に抗えず
何度も何度も
彼女の口に射精した…

はあっ

はあっ



何をされても逆らう
ことを許されない
奴隷のお姉さんに
でるっ

またでる…っ

僕は毎日のように
自分の性器を
口に挿入した

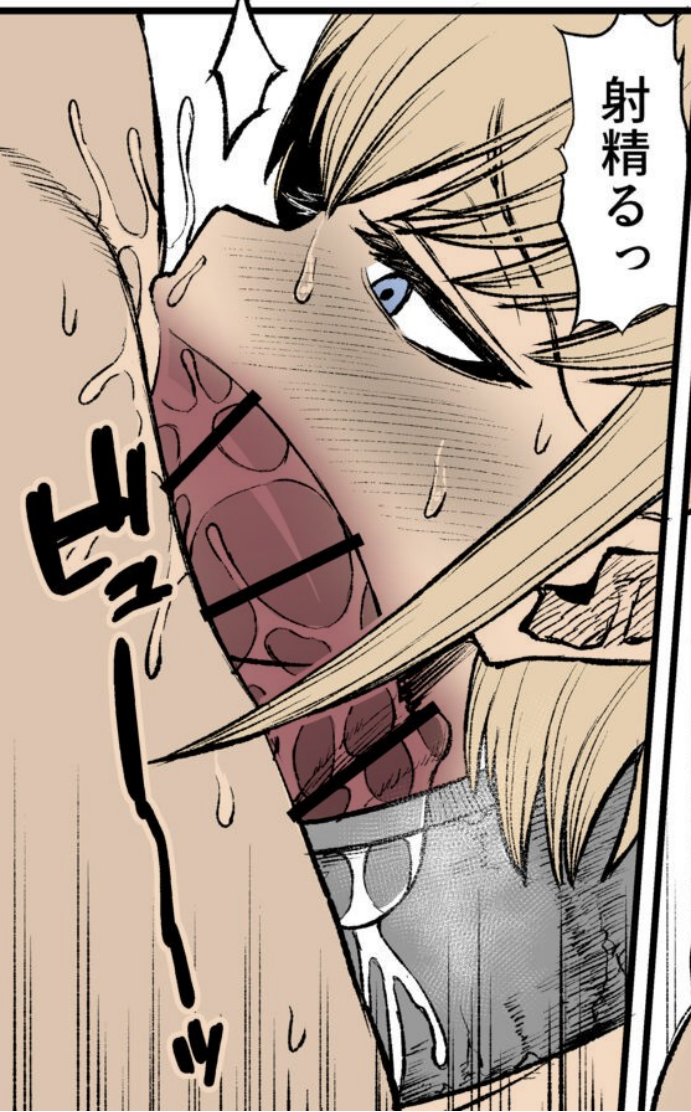
はあ

気持ち良いっ

はあ

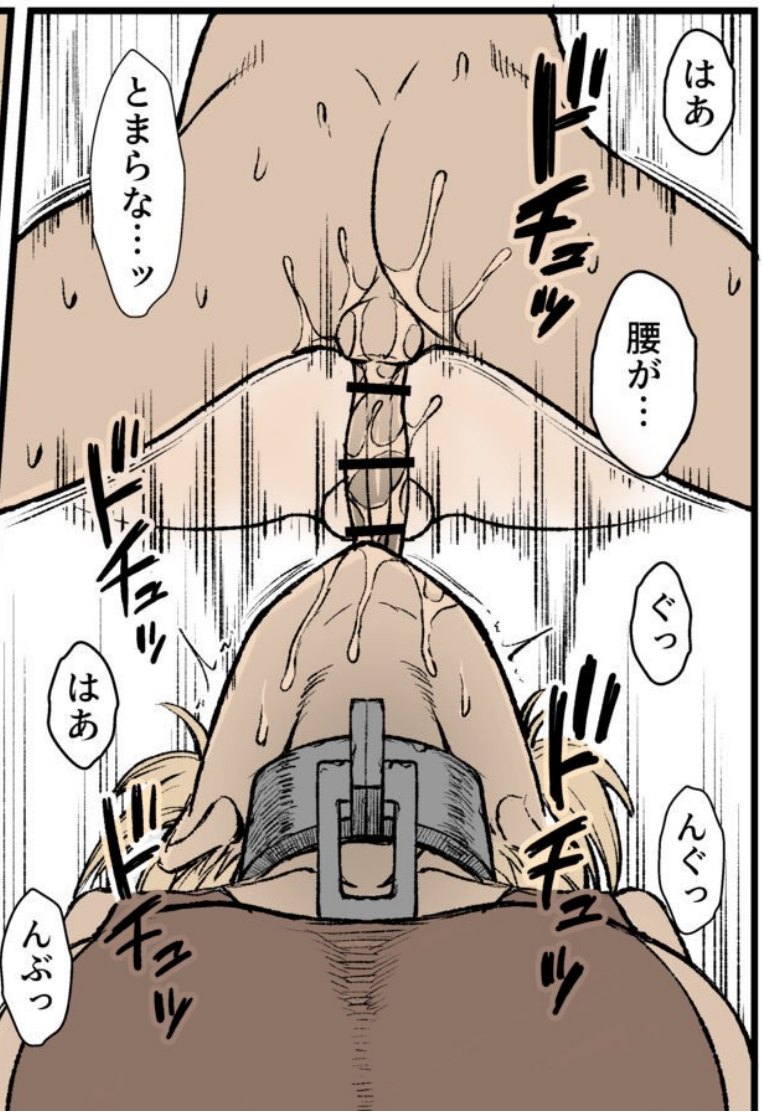
はあ

はあ



射精るっ

ビュッ
ッ



はあ

腰が…

ぐっ

んぐっ

とまらない…ッ

はあ

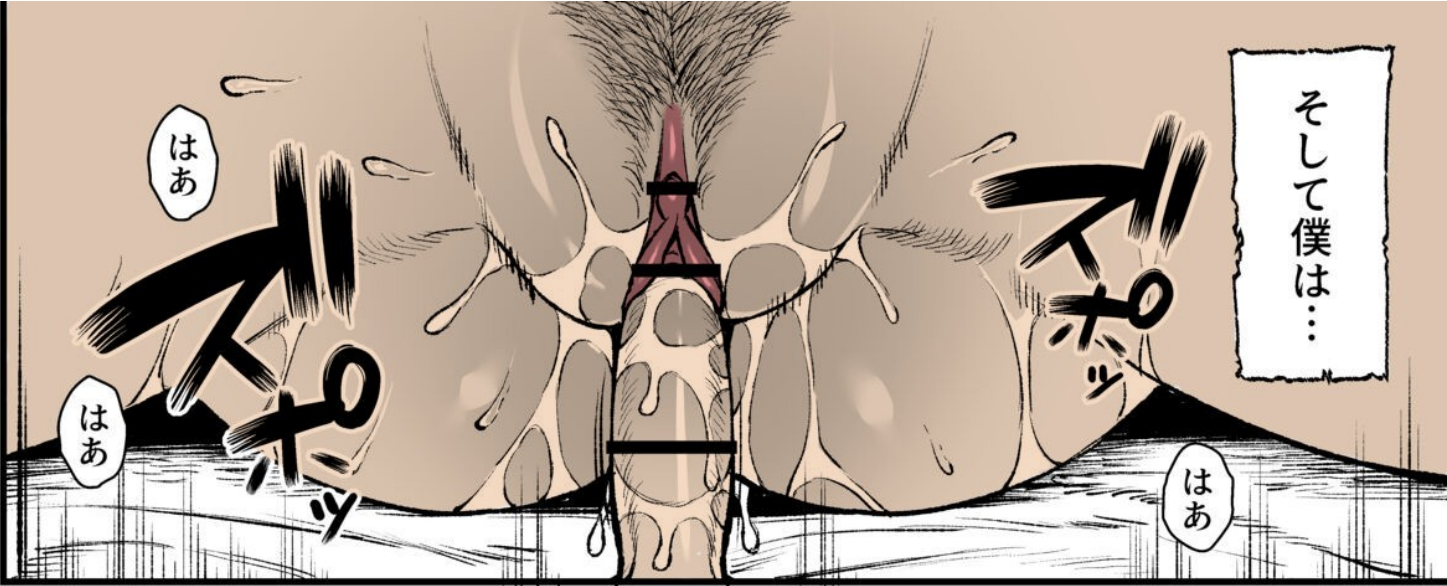
んぐっ

ドキュッ

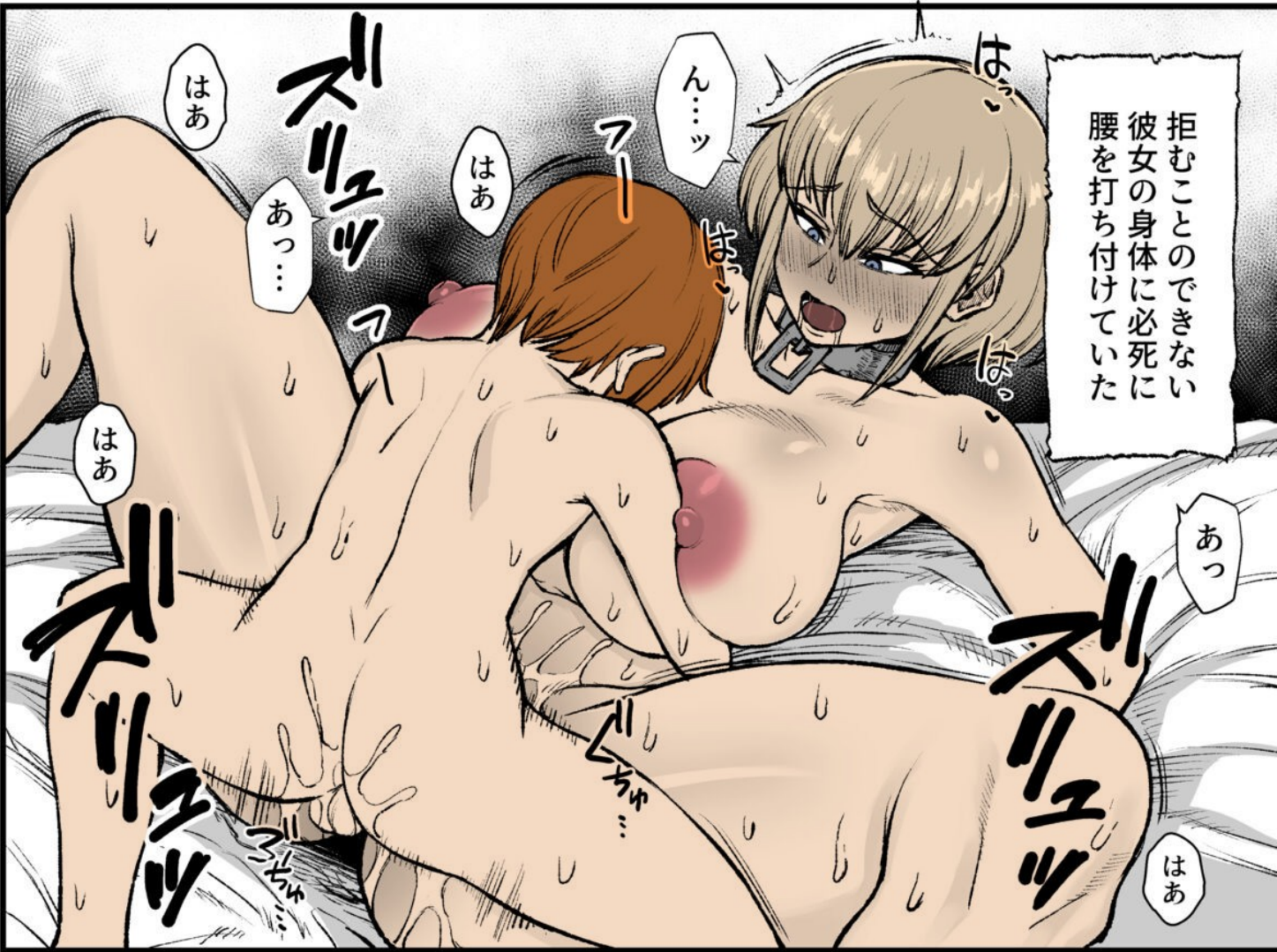
ドキュッ

ドキュッ

ドキュッ



そして僕は…



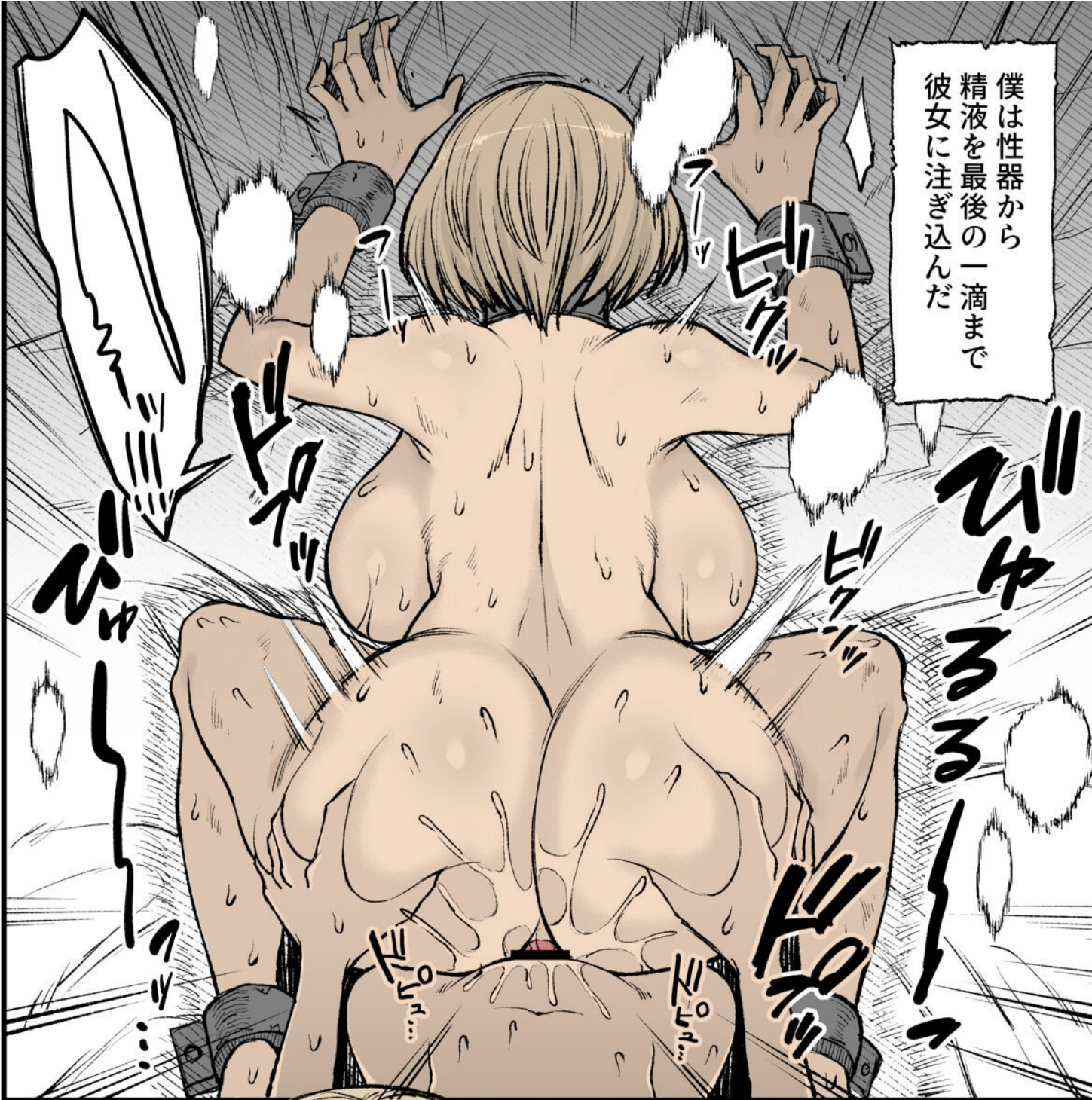
拒むことのできない彼女の身体に必死に腰を打ち付けていた



舌を出すと自ら舌を絡めてきた

僕を受け入れてくれたみたいで興奮した

僕は性器から
精液を最後の一滴まで
彼女に注ぎ込んだ

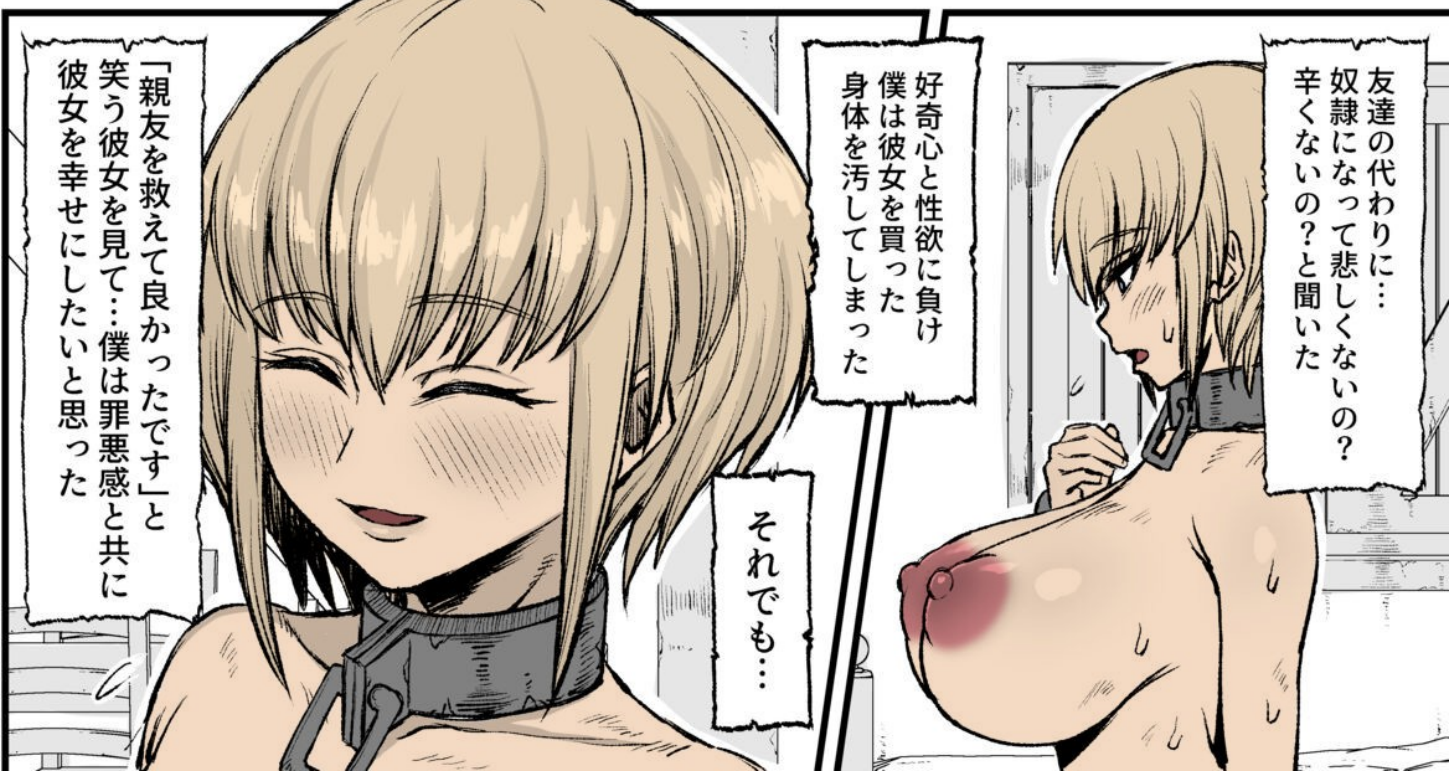


友達の代わりに：
奴隷になって悲しくないの？
辛くないの？と聞いた

好奇心と性欲に負け
僕は彼女を買った
身体を汚してしまった

それでも…

「親友を救って良かったです」と
笑う彼女を見て…僕は罪悪感と共に
彼女を幸せにしたいと思った



僕は彼女を
買った

僕が買った。
僕だけの奴隷

彼女は料理や掃除、雑用は
すべてやってくれている
奴隷商人に教育を受けるらしい

お口に合ったようで
何よりです

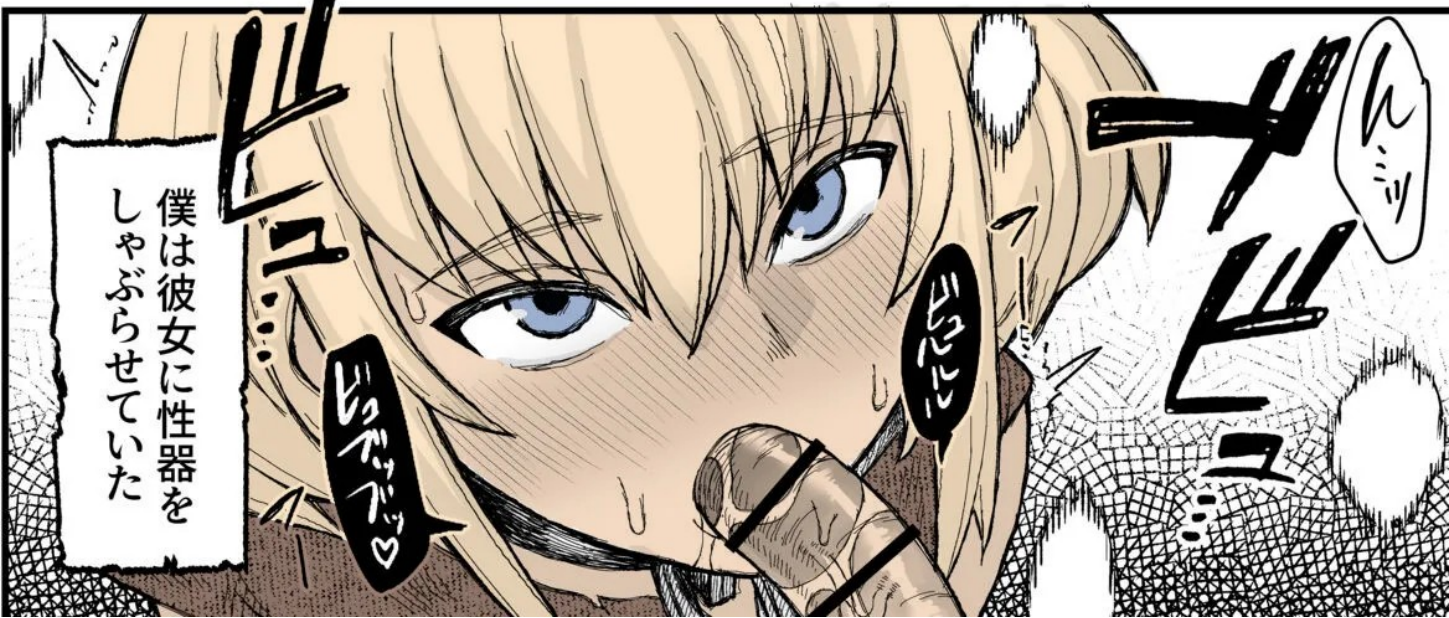
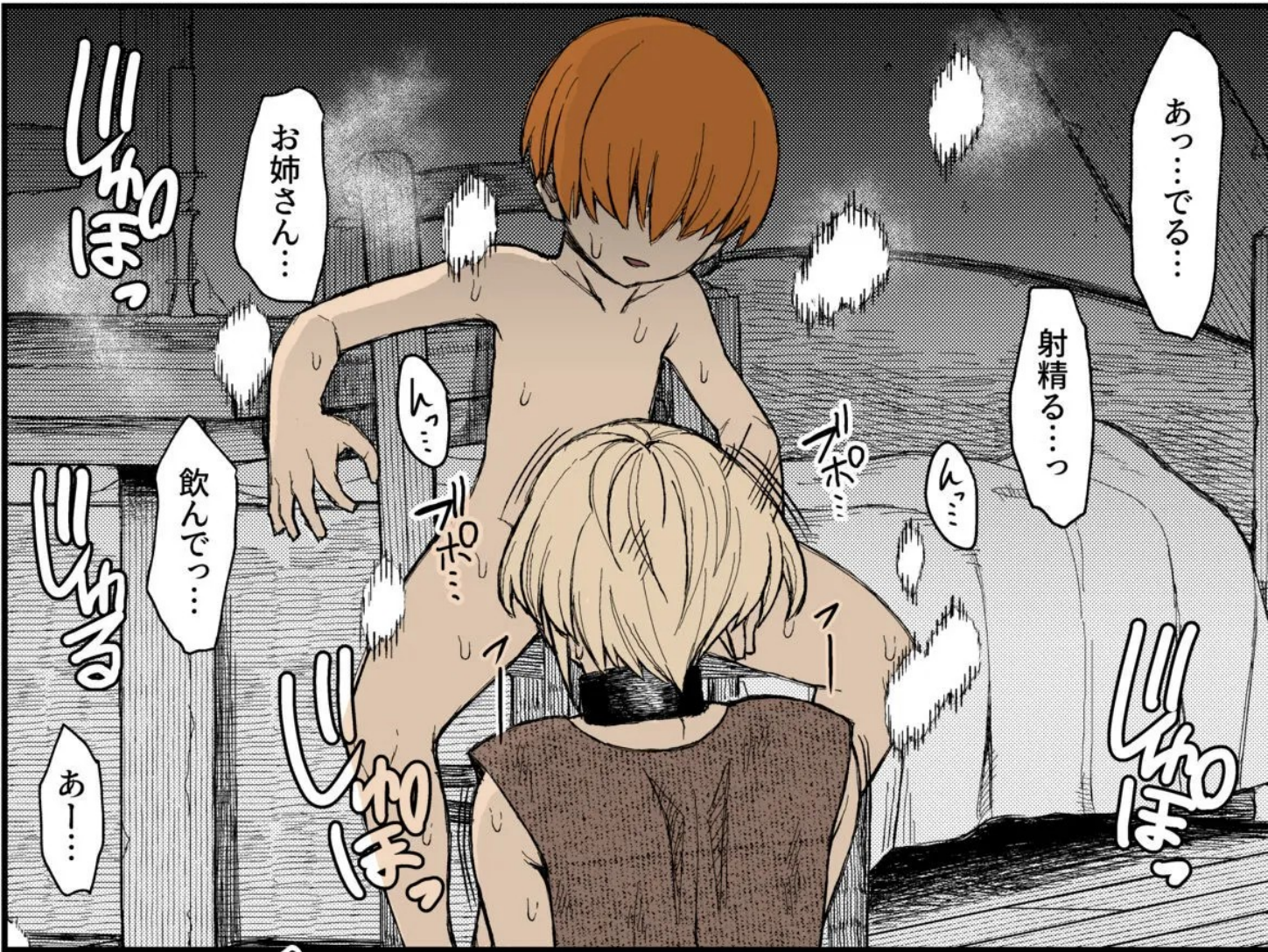
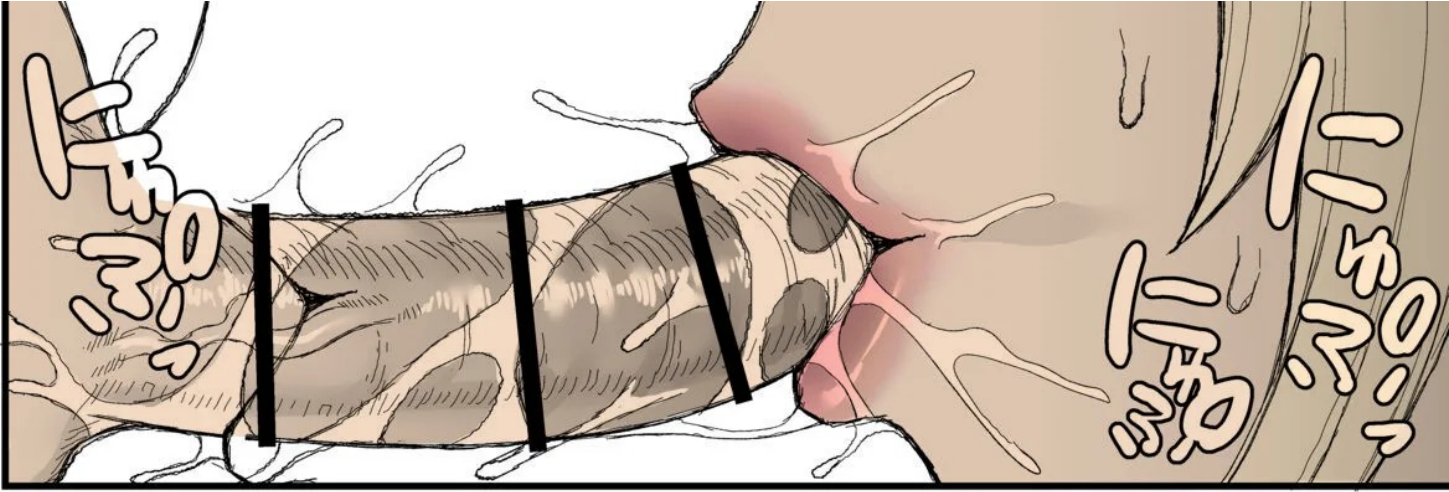
彼女にはこの後も
仕事がある

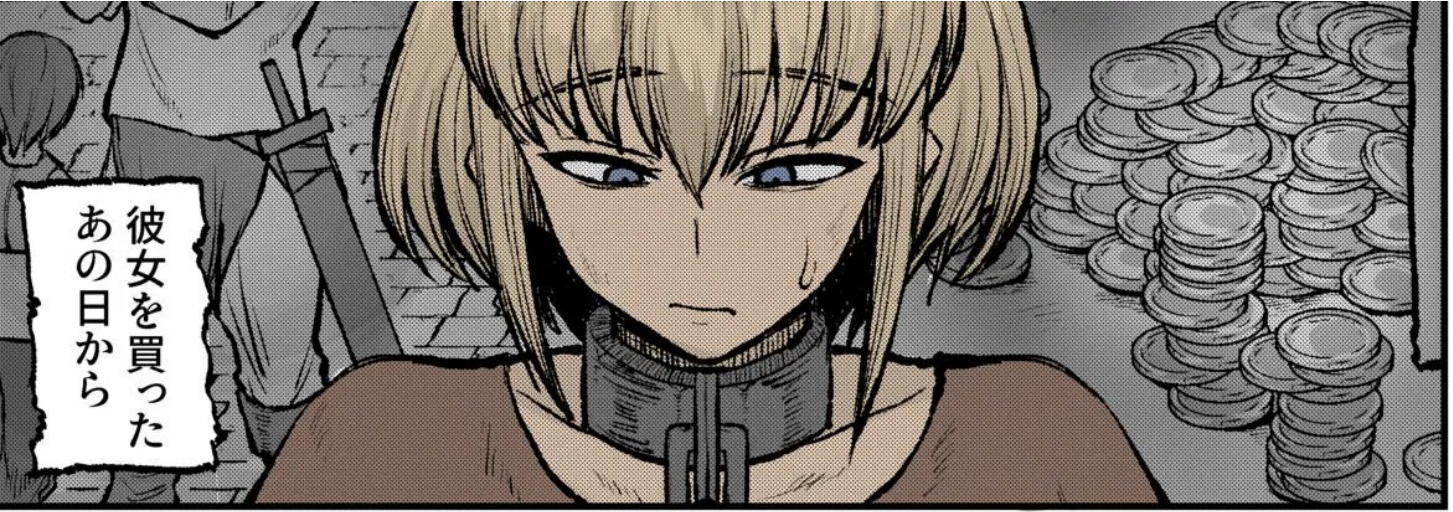
この後…
いいかな…?

…はい

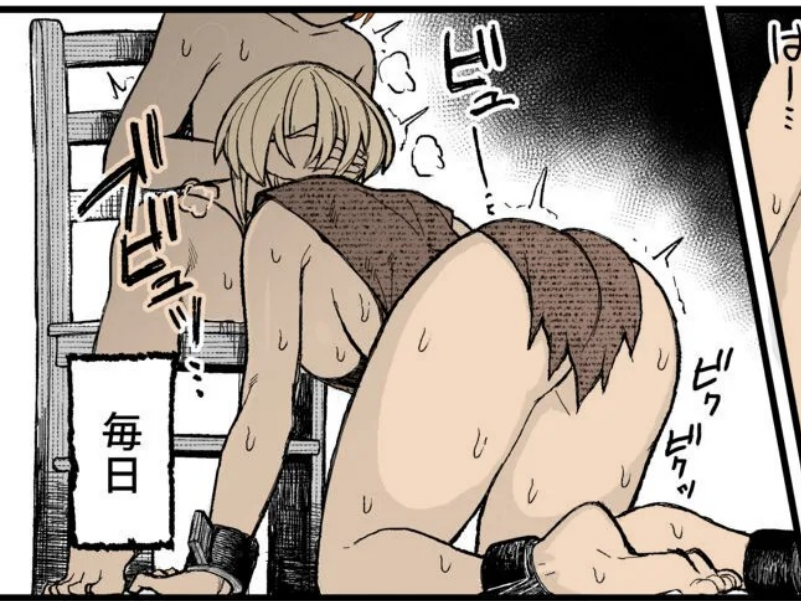
美味し
かったよ

ご馳走様
カマ

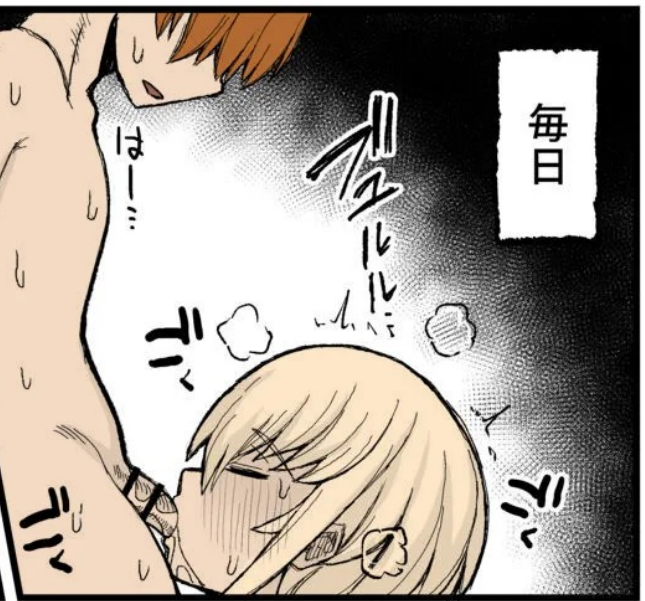




彼女を買った
あの日から



毎日



毎日



僕の命令には
逆らえない

気持ちいいで
しょうか…?

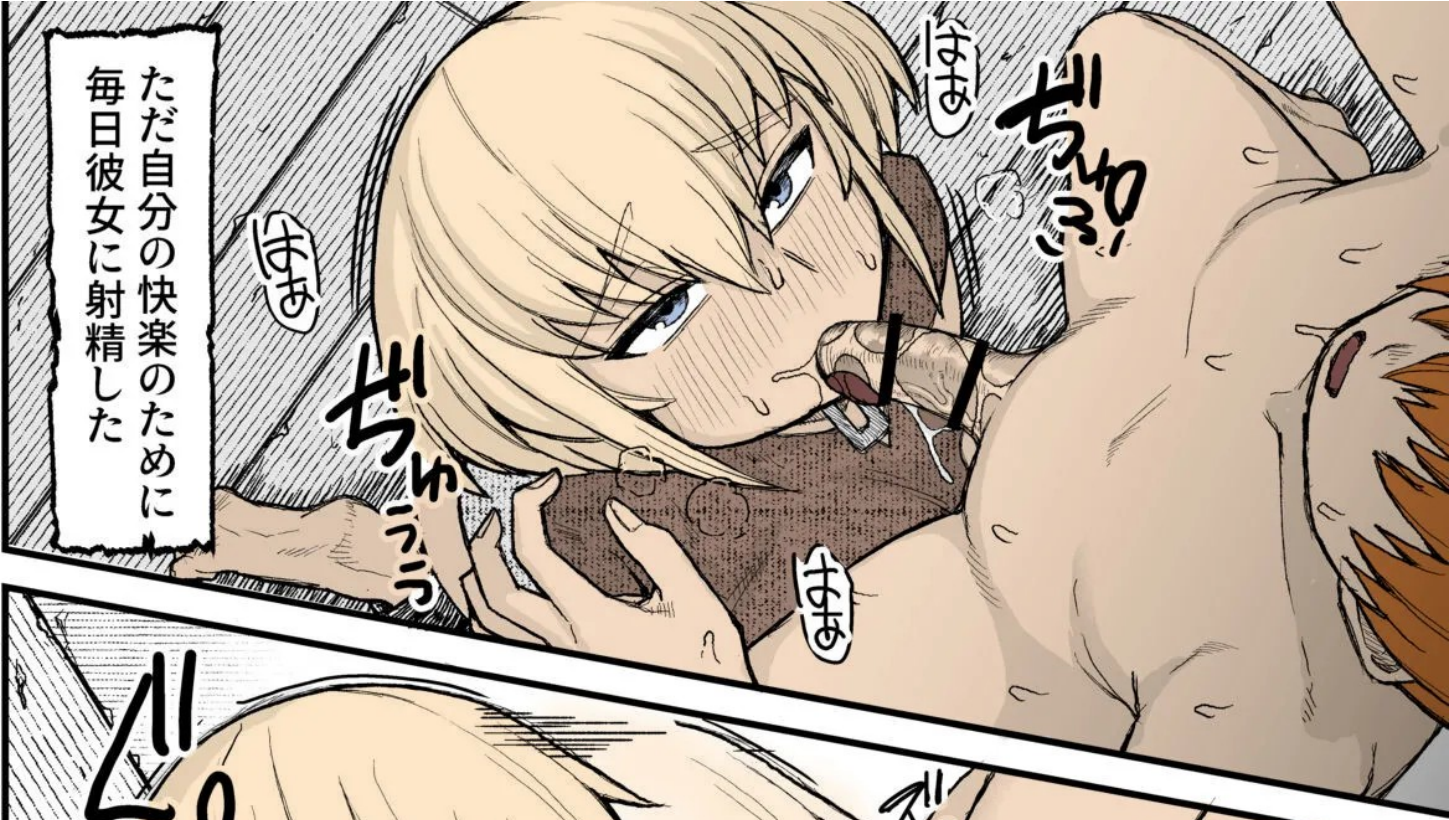
その事実が
ただただ興奮した



僕より体も大きくて力も
強いはずなのになんでも
言うことを聞いてくれる

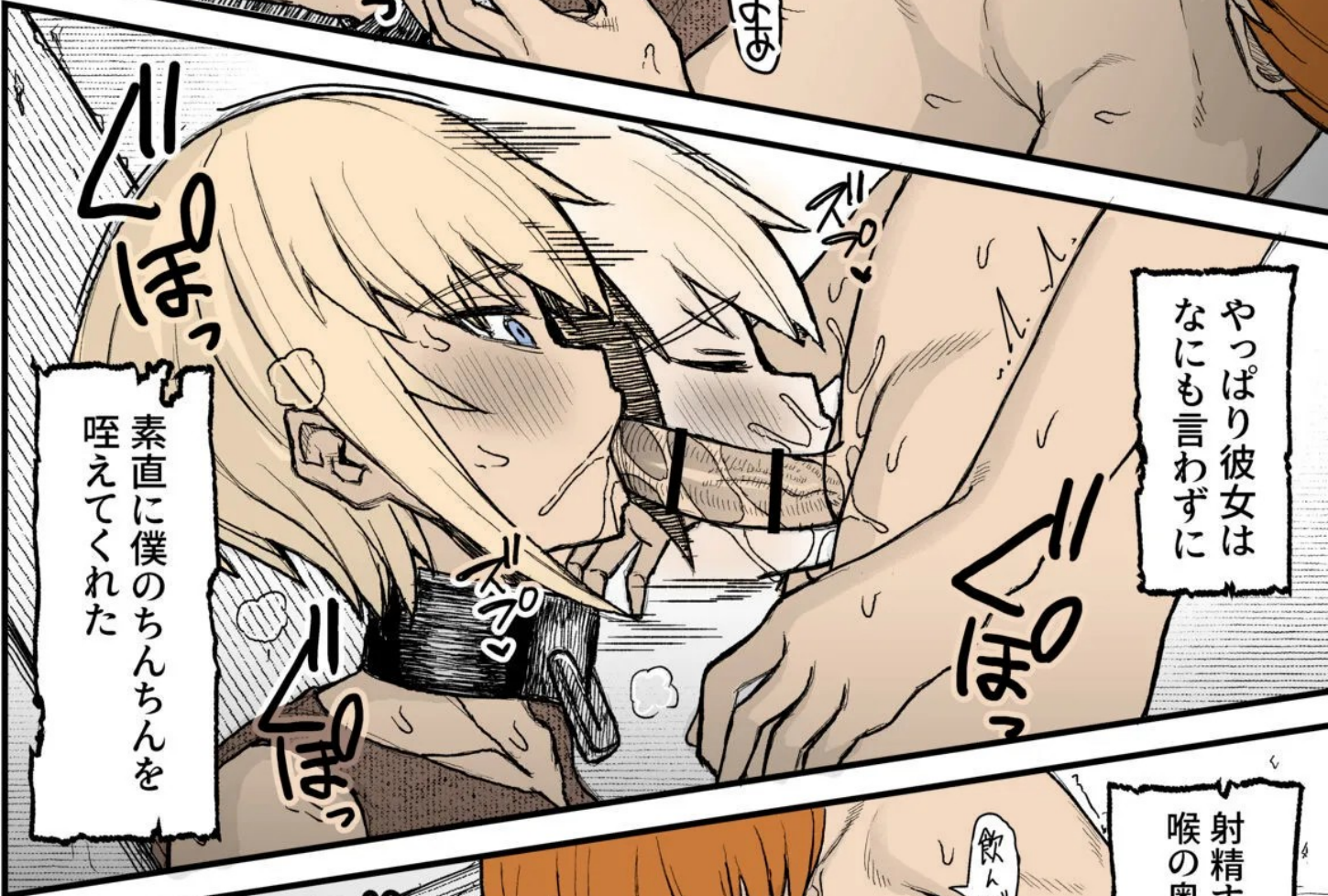
じゅわ…

じゅわ…



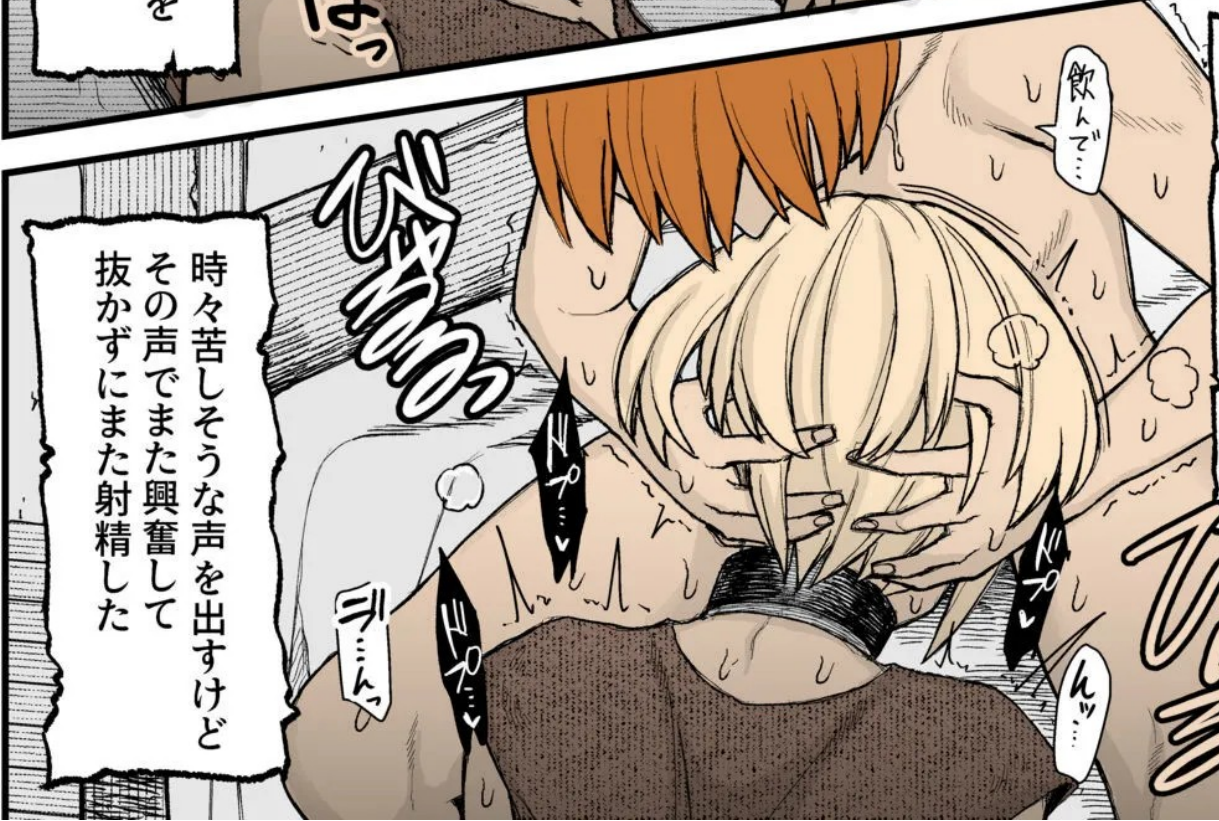
ただ自分の快樂のために
毎日彼女に射精した

やっぱり彼女は
なにも言わずに



素直に僕のちんちんを
啜えてくれた

射精するときはいつも
喉の奥まで入れて射精した

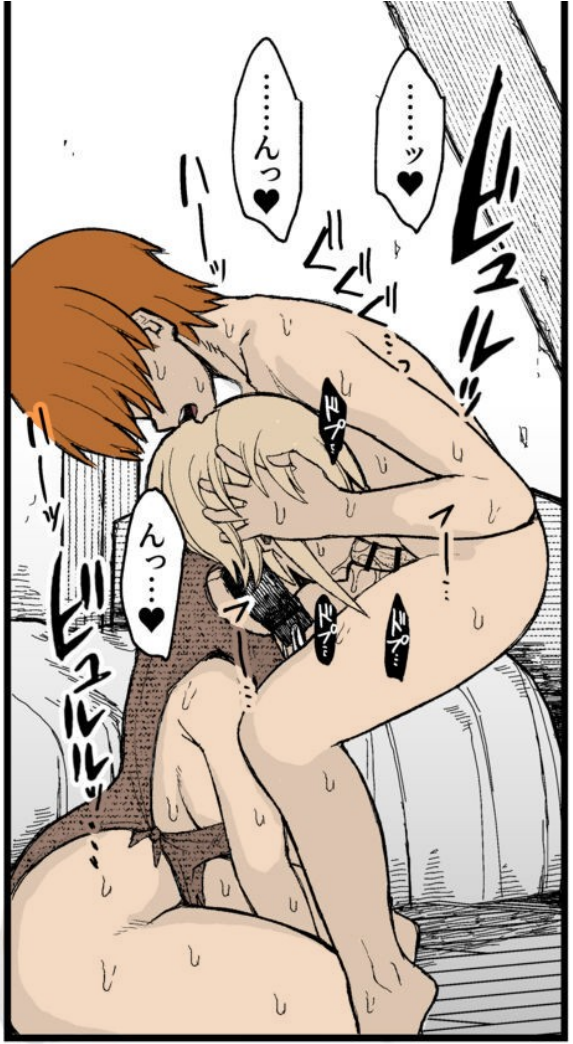


時々苦しそうな声を出すけど
その声でまた興奮して
抜かずにまた射精した

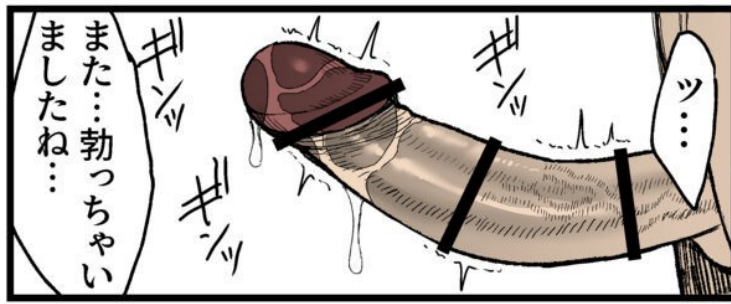


今日も…んっ…
可愛がつてくださって
ありがとうございます…

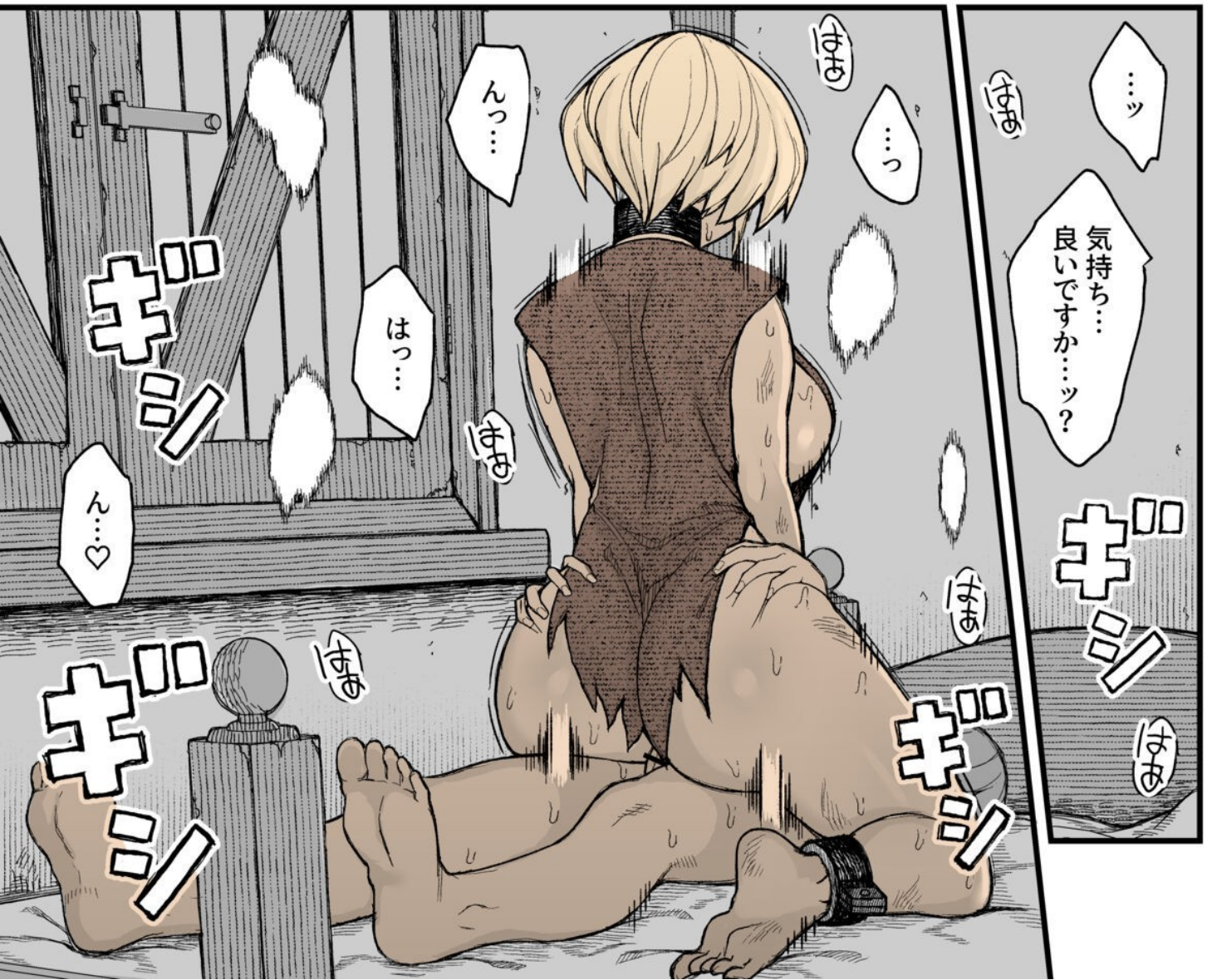
ご主人さま…



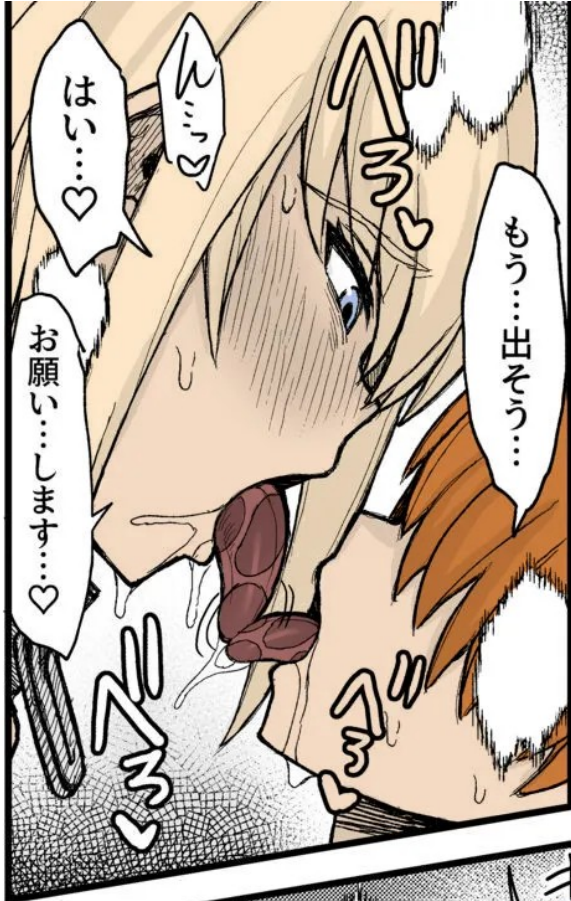
んっ…♡



また…勃つちやい
ましたね…



気持ち…
良いですか…ツ?



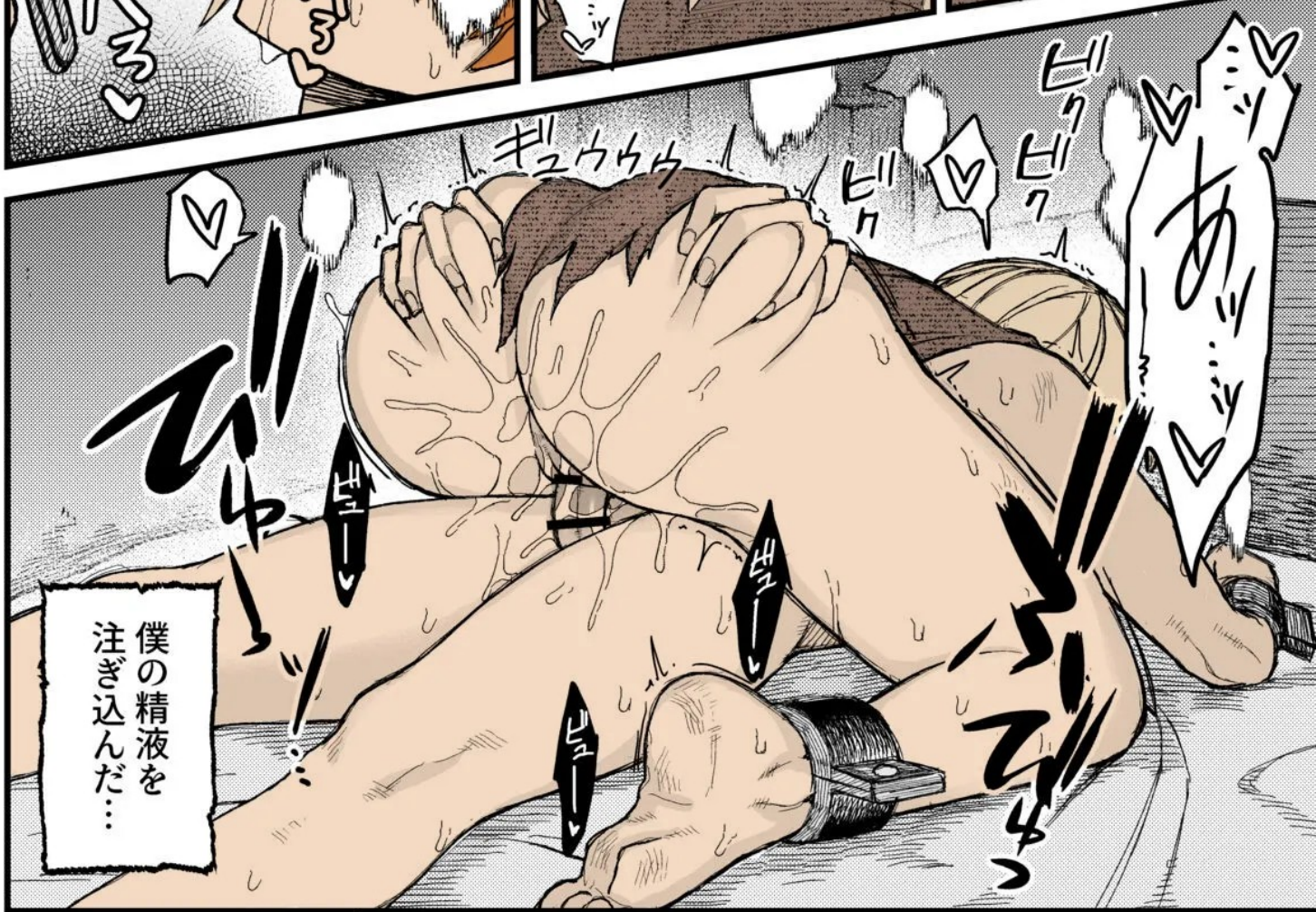
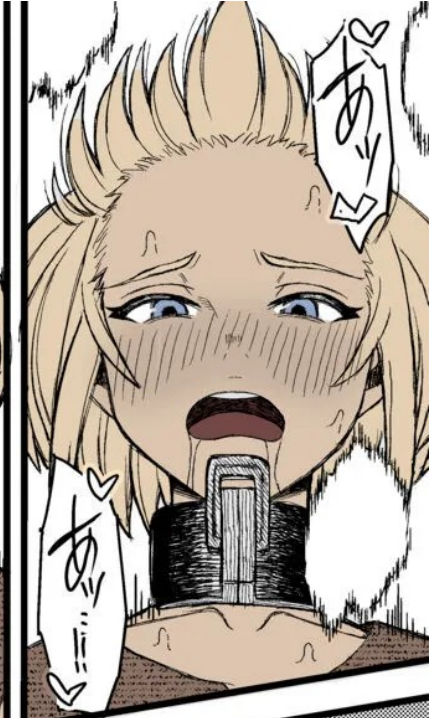
はい…♡

お願い…します…♡

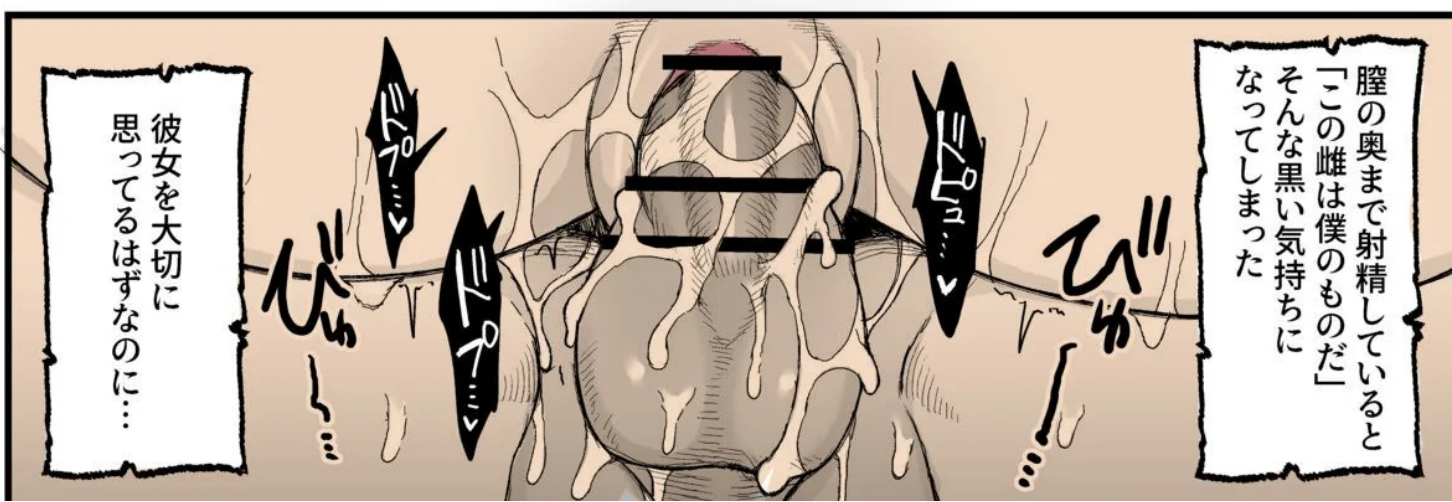
もう…出ちゃう…



そしてまた
彼女の膣内に…

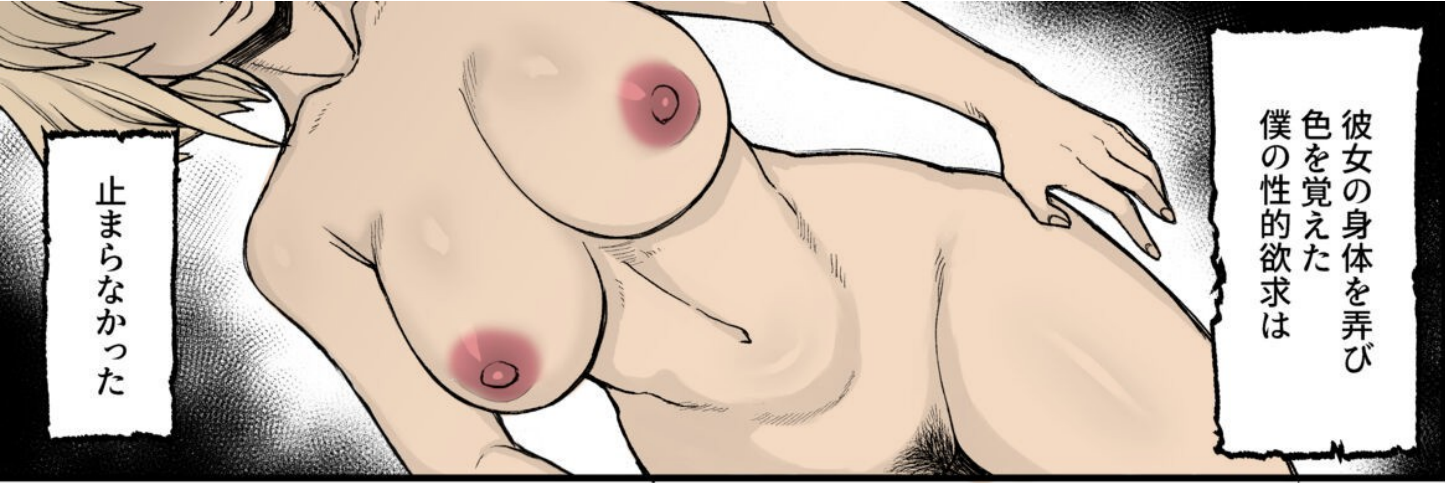


僕の精液を
注ぎ込んだ…



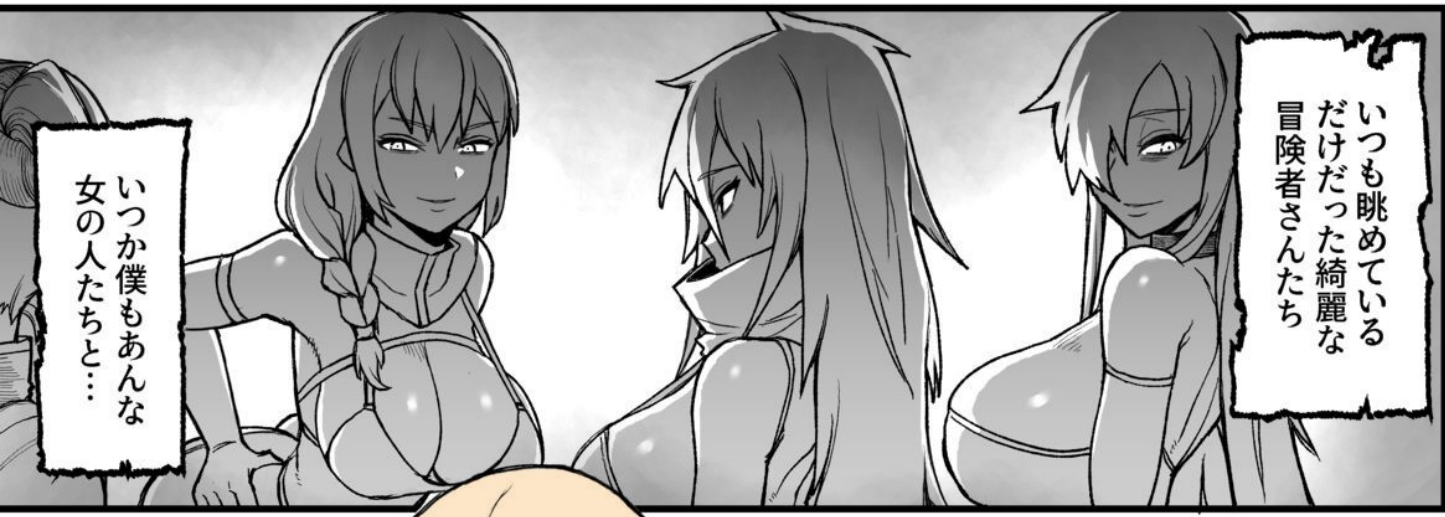
彼女を大切に
思ってるはずなのに…

膣の奥まで射精していると
「この雌は僕のものだ」
そんな黒い気持ちに
なってしまった



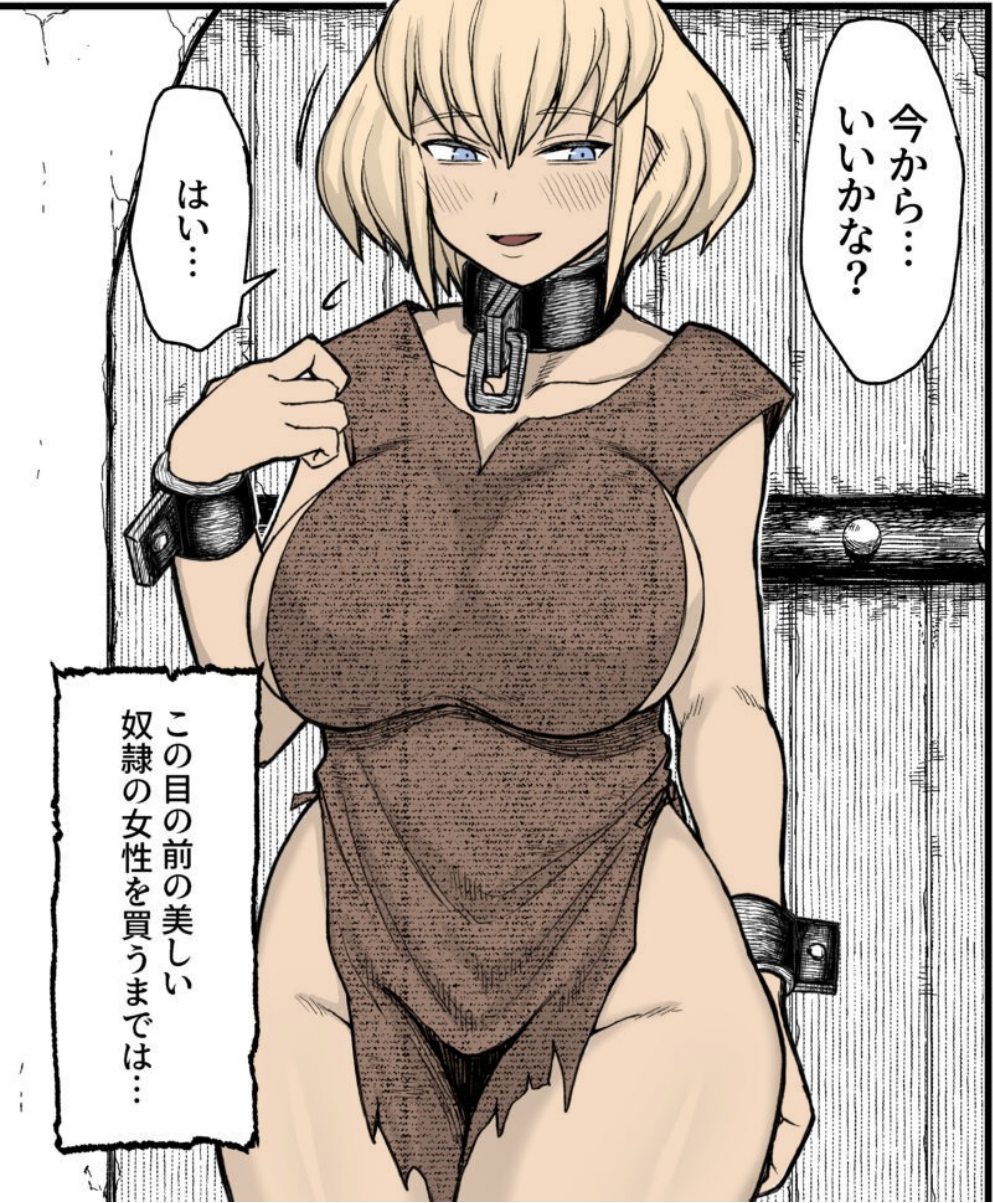
彼女の身体を弄び
色を覚えた
僕の性的欲求は

止まらなかった



いつも眺めている
だけだった綺麗な
冒険者さんたち

いつか僕もあんな
女の人たちと…



今から…
いいかな？

はい…

この目の前の美しい
奴隷の女性を買うまでは…



こんなことばかり
考えていた…

その…



今日もまた彼女に
ちんちんを舐めさせた

んっ...ぶ...

はあ...はあ...

いっほ...

いっほ...

奴隷だから命令には
逆らえないとわかっていても
女の人が僕のちんちんを
啜えている姿は興奮した

あー...気持ちいい...

ふあい...

もっとちんちん吸って...

あっ...もっと

はあ

はあ

はあ

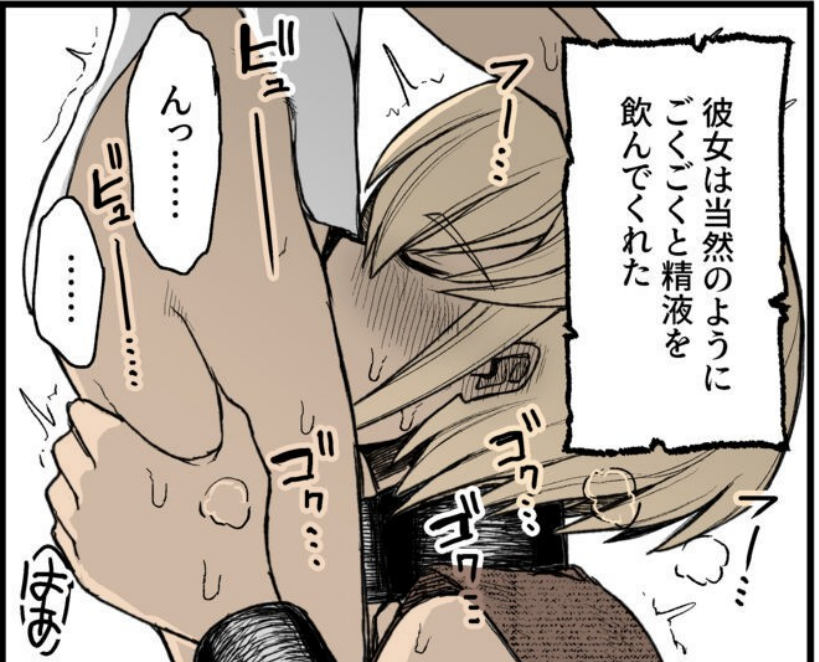
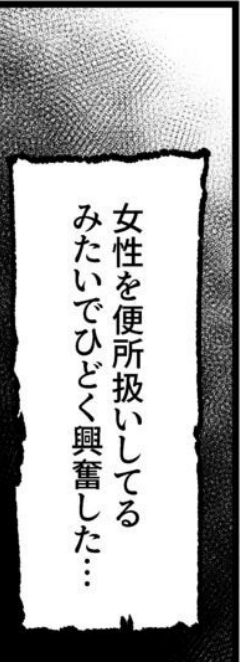
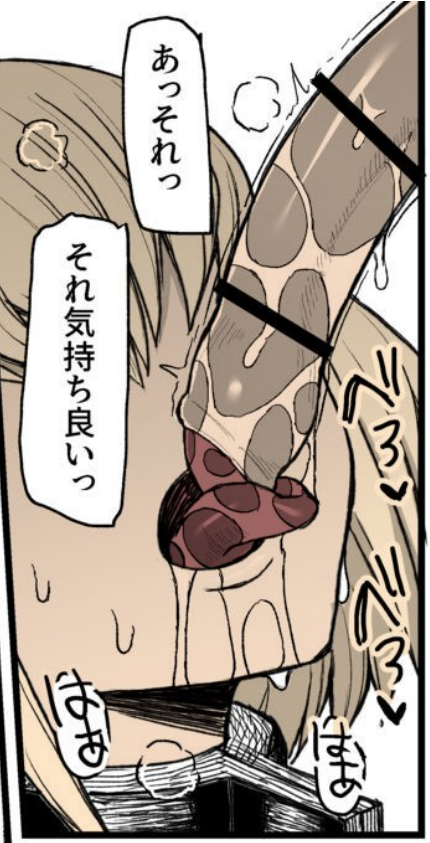
はあ

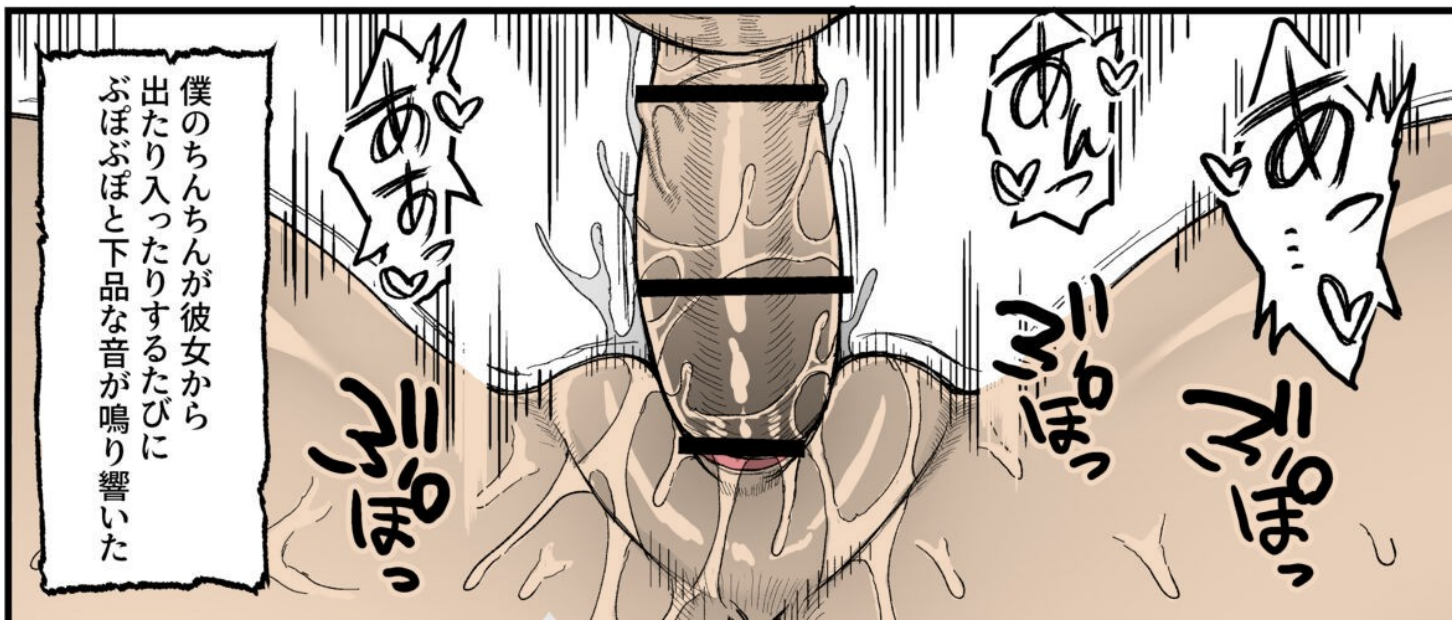
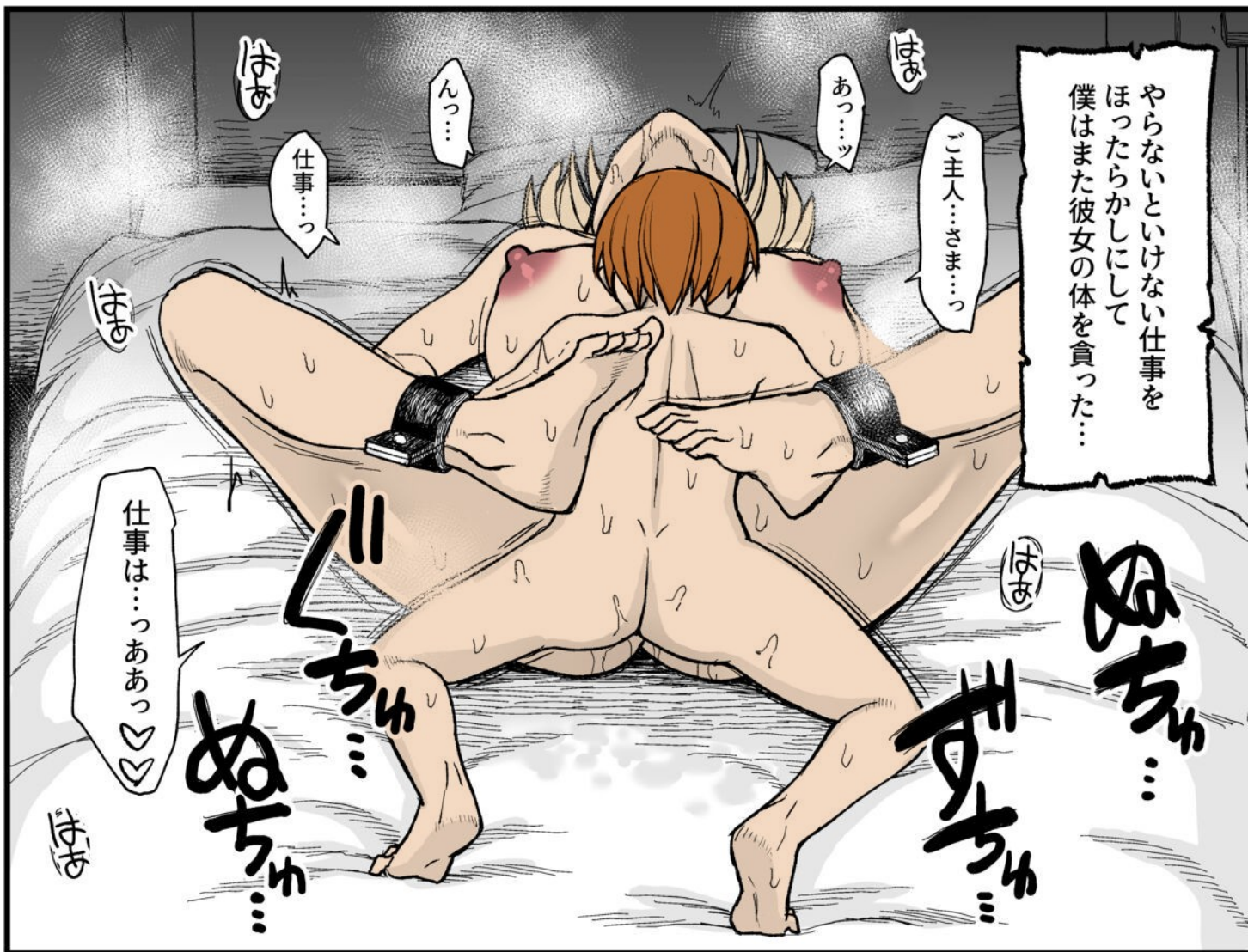
はあ

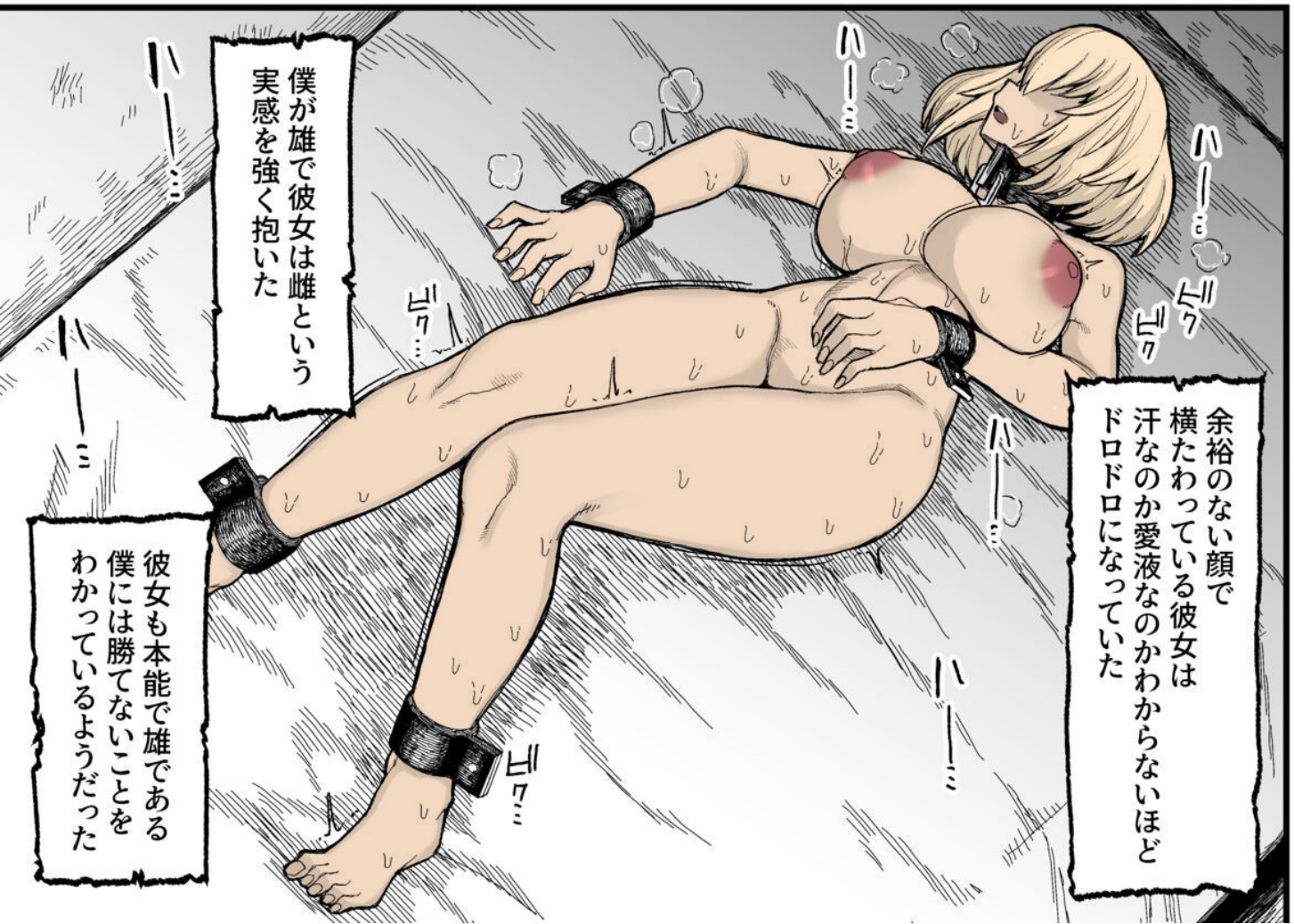
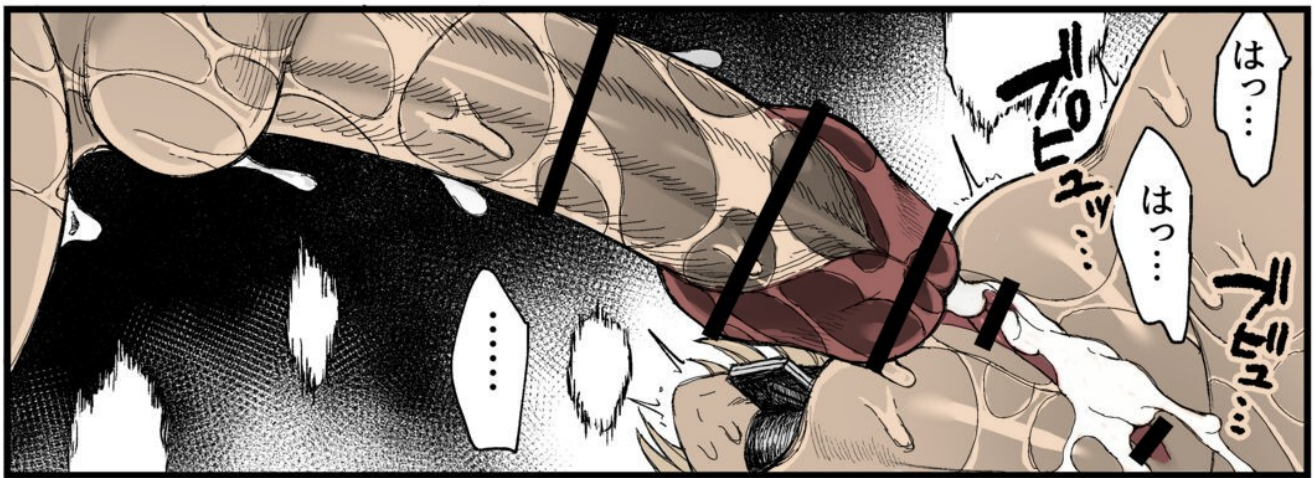
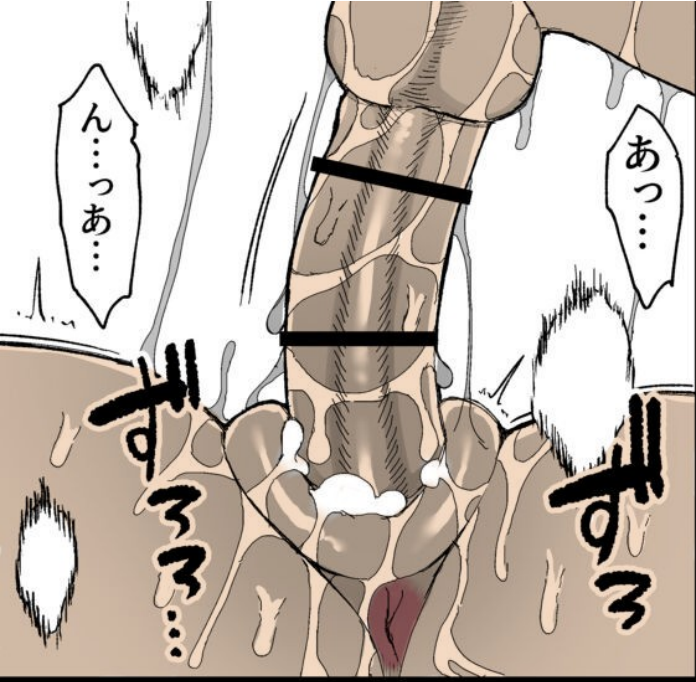
はあ

はあ

はあ







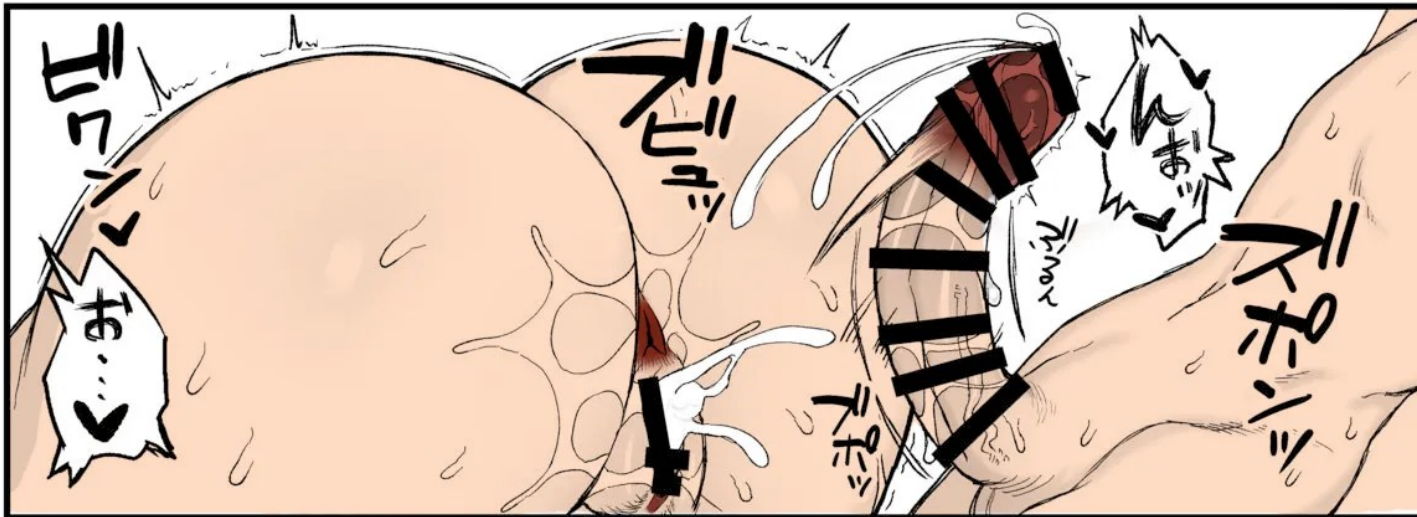
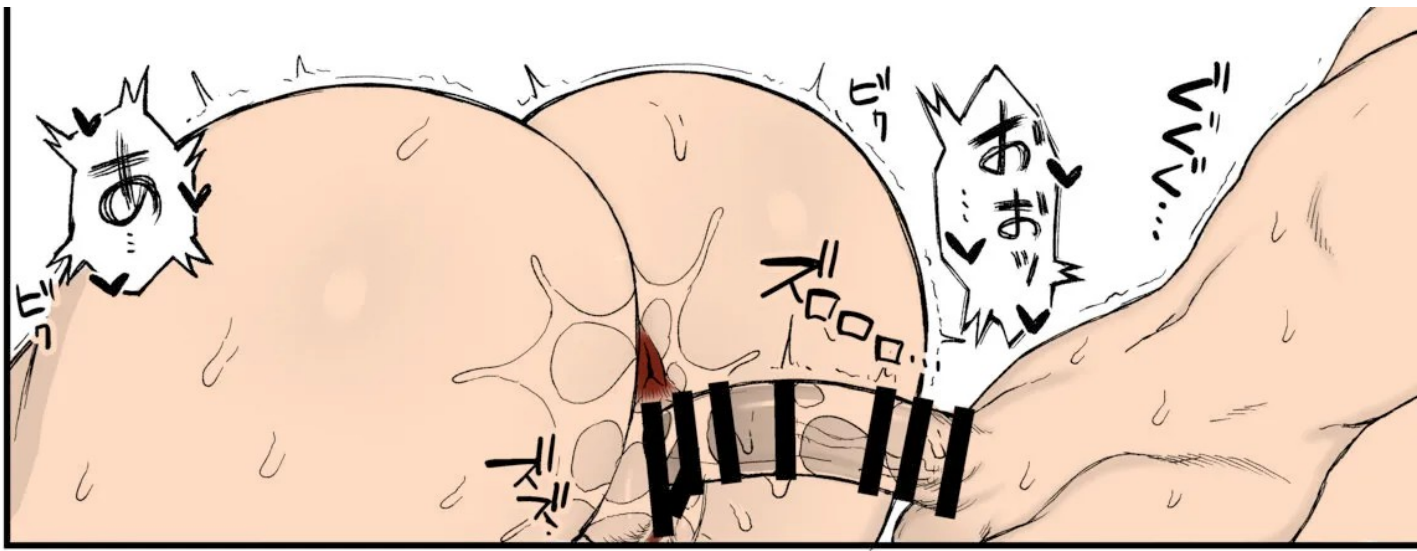
大丈夫ですよ

あんなに大事に
しようって
決めてたのに…

どうしよう…
全然治まらない…

わたしは
ご主人様の
奴隷
なんですから…

ね…
だから
どうぞ…
私の身体で
気持ちよく
なってください…



HEY!

I HOPE YOU HAD A ***FUN*** TIME!

IF YOU ENJOYED, PLEASE
CONSIDER SUPPORTING ME ON
KO-FI, THAT WOULD HELP
ME A LOT AND IT'D
MAKE EASIER FOR ME
TO CONTINUE DOING
THIS! ;)

KO-FI: GODOKINTRANSLATION



(QR TO MY
KO-FI PAGE!)

YOU CAN ALSO
REACH OUT TO
ME ON:

DISCORD: GODOKKIN

EMAIL: GODOKINTRANSLATION@GMAIL.COM

DO YOU WANT AN SPECIFIC DOUJIN TRANSLATED?
REACH OUT AND MAYBE WE CAN MAKE A DEAL!!
NOTHING IS OFF THE TABLE

THANK YOU!!

